

1月の園便り



「ゆきのふるよる」

30年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

あけましておめでとうございます。幼児教育を取り巻く環境の変化が大きい昨今、大人にとって都合がいい制度ではなく、子どもたちにとって望ましい形となるように願わずにはいられません。今年も理想の幼児教育を求めて学び続けたいと存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。

あるお店で・・・若いお母さんとお父さんと3歳くらいの女の子がいました。帰るときに、お母さんが「ありがとうって言って」といいました。女の子「・・・」するとお父さん「ありがとうっていわないともう来られないんだよ！」女の子「・・・」お母さんとお父さんは「言いなさい！」と言いつけました。すると女の子はドアを開けて外へ行こうとしました。お母さんとお父さんは「ありがとうって言わないと帰らないよ」といいました。女の子は、立ち止まったまま動かなくなりました・・・しばらくすると、女の子は振り返って「ありがとう…」と重く低い声でやっとの思いで言葉を絞り出しました。するとお父さんがひとこと「やっと言った！」・・・でもね、女の子はこの後で「△÷□×△ー！」と大きな声を出しながら手足をブンブン振りまわして嫌な気持ちを吐き出していたのです、言いたくなかったのに言わざるを得なかった悲しい気持ちを・・・

しつけをきちんとしたいと思うお母さんとお父さんの気持ちはよく分かるのですが、でも、女の子に無理に「ありがとう」という言葉を言わせなくても、お母さんとお父さんがありがとうと言うお手本を見せていれば、子どもは自然と真似をするのに・・・たとえ、この場で言えなくても、女の子がやがて一人で生きようになったときに、きちんといえる子どもに育つのに！「言いなさい」と強制されると、嫌になってしまうものです。それに加えて「いわないと来られない」とか「帰らない」という言葉は、脅しにもなり得ます。女の子は「言わないと帰らない」という言葉に困ってしまって、お母さんとお父さんに妥協しようと、自分の気持ちを抑えてやっとの思いで「ありがとう」といったのに、お父さんの言葉がちょっと悲しいですね。ありがとうさえ言えばいいの？心がこもらないありがとうでいいの？相手に思いを伝える大切な言葉なのに・・・ご両親にとっては、親が言ったことに従って欲しかっただけのように思えました。

ちなみに、帰るときに女の子は滑って転びました、泣いている女の子に「転んだのは自分が悪いんだから泣かない！」とお母さん・・・「痛かったね、嫌だったね」と言って欲しかった・・・子どもの心を大人が思いやってあげなくてはならないのです、小さい子どもたちは自分の思いをうまく伝えられないのですから・・・子どもの心を学ぶ教室があったらいいのと思った年の始めでした。

1月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
9	火	×	11:30	始業式
10	水	×	11:30	お餅つきの会です。 降園時間が早いですがよろしく願いいたします。
				お父さんの会の方々にもお手伝いをいただきます。
11	木	○	2:00	
12	金	○	2:00	本日から給食が始まります。
13	土	/	/	第2土曜日
14	日	/	/	
15	月	○	2:00	
16	火	○	2:00	お父さんの会の方々が鉄芯コマの回し方のお手本を子どもたちに見せてくださいます。
17	水	×	11:30	誕生会です、1月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう
18	木	○	2:00	
19	金	○	2:00	
20	土	×	11:30	自由登園日
21	日	/	/	
22	月	○	2:00	
23	火	○	2:00	
24	水	×	11:30	個人懇談 降園時間が早くなりますがよろしく願いいたします。
25	木	×	11:30	〃
26	金	×	11:30	個人懇談 降園時間が早くなりますがよろしく願いいたします。
27	土	/	/	第4土曜日
28	日	/	/	
29	月	○	2:00	
30	火	○	2:00	
31	水	○	2:00	

